

令和4年3月24日

回復期リハビリテーション病棟で作業中心の実践をする作業療法士の関係性構築の戦略
～SCATを用いた質的研究～
へのご協力依頼

拝啓 ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

私は現在東京都立大学大学院に在学し、修士論文として、回復期リハビリテーション病棟（以下、回復期リハ病棟）で作業療法理論に基づいて作業従事を促す介入をしている作業療法士がクライアント（以下、CL）とどのような関係性を構築しているのか、またその関係性を構築するためにどのような関わり方をしているのかを明らかにする研究を行っています。

つきましては、下記の内容をお読みいただき、研究の趣旨をご理解のうえ、インタビュー調査についてご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 研究課題名

回復期リハビリテーション病棟で作業中心の実践をする作業療法士の関係性構築の戦略
～SCATを用いた質的研究～

2. 研究の目的・意義

目的：回復期リハ病棟で作業従事を促す介入をしている作業療法士がCLとどのような関係性を構築しているのか、またその関係性を構築するためにどのような関わり方をしているのかを、Steps for Coding and Theorization（以下、SCAT）による質的研究を用いて明らかにする。

意義：回復期リハ病棟で、作業従事を促すためには、どのような関係性の構築が必要か明らかにし、作業療法の発展に貢献できることである。

3. 研究の方法・手順・期間

【対象】

回復期リハ病棟の作業療法士で、A・Bに加え①～③のいずれかに該当する者

A) 自分が臨床で作業療法理論を使用している者

B) オンラインか対面によるインタビューができる者

① 他選により周囲の作業療法士がCLと良い関係性を築いていると考える者

② 関係性に関する学会・論文発表をしている者

③ CLとの関係性に関心を持っている者

【研究手順】

1. 研究協力の意思表示をして下さった方に対し研究の趣旨と協力内容を説明します。

2. 同意書により研究協力への同意が得られた研究対象者に、一般情報として、性別、年齢、回復期病棟経験年数を伺います。

3. 2の後に日程調整を行い、CLとの関係性に関する半構造化インタビューを対面にて行います。なお、研究代表者との対面によるインタビューの実施が困難な場合（研究対象者の所在地が遠方、コロナウイルスの状況悪化）は、リモート会議ツールであるZoom（Zoom Video Communications, Inc.）にてインタビューを実施します。Zoomによるインタビューを行う際は、インタビュー時にオンライン機器を使用させていただきます。インタビューの内容は録音・筆記にて記録します。
4. 対面による面接はプライバシーが保護できる場所で感染対策（実施前後の手洗い、マスクの着用）をした中で実施します。Zoomを使用し行う場合は任意の場所から参加して頂きます。
5. インタビューは2回実施します。インタビュー結果から内容が不明確であるものや、分析過程で更なるインタビューの必要が生じた際には3回目のインタビューを実施します。詳細な内容とともに研究代表者が1・2回目のインタビューから逐語記録を作成し、研究対象者に内容のずれや間違いがないかメンバーチェックを行います。インタビューは、1回約30～60分を要すると考えております。
6. 得られたデータを、質的データから理論生成を行うSCATを用いて分析します。

【研究期間】

2022年1月27日～2023年1月31日

5. 研究倫理

本研究は、①令和4年度東京都立大学荒川キャンパス研究倫理委員会（承認番号：21076）の承認②中伊豆リハビリテーションセンターの倫理審査において審査を受けて、承認されております（承認番号：20220201）。

6. 個人情報保護

- ・研究で得られたデータにより個人・機関名が特定されることはありません。
- ・本研究により得られた個人情報は本研究の目的以外では使用いたしません。
- ・本研究により得られたデータは、パスワード機能のあるUSBメモリーに記録し、社会福祉法人 農協共済 中伊豆リハビリテーションセンターにある鍵付きロッカーにて保管し、5年経過後に、電子データは専用ツールを用いて完全に消去するか物理的な媒体の破壊をもって破棄し、紙データはシュレッダーを使用して破棄いたします。

7. 得られたデータの利用範囲、研究成果の発表方法

本研究は学術論文および学会発表や論文作成に使用する予定です。データ収集後の分析から発表時に至るまで、個人が特定されないように研究代表者が匿名化を行い、その後、共同研究者とデータの分析を行う予定です。研究内容や結果については、研究代表者までお問合せください。

8. 研究への参加と取り止めの自由について

本研究では、人権の基本である自由意思を第一優先事項とし、本研究への参加はあくまで個人の自由意思によるものとします。研究参加に同意しない場合でも不利益は受けることはありません。いつでも参加の取り止めが可能であり、もし途中で参加を取り止めたとしても不利益を被ることはありません。

研究参加中止の希望がある場合は、別紙の研究同意撤回書に署名を行って頂いた上で、研究代表者まで提出をお願い致します。その後本研究のために収集した情報をすべて破棄し研究の撤回をいたします。ただし、データ分析を開始する2022年8月後には同意の撤回ができなくなる旨をご承知おきください。

9. 研究に参加することで得られる利益と不利益

本研究では謝礼としてQUOカード5,000円分を差し上げます。また、インタビュー調査を行うことで身体的・心理的負担が生じる場合がございます。疲れたらいつでも終わって良いこととし、心理的・身体的負担を軽減できるように努めます。

10. 研究の資金源

本研究は令和3年度の中伊豆リハビリテーションセンターの課題研究費の助成を受けて実施しております。

11. 知的財産権について

研究の結果として特許権などの知的財産権、ひいてはそれに基づく経済的利益が生じる可能性があります。この知的財産権の帰属は研究者または東京都立大学、あるいは他の共同研究者と協議の上決定され、データ提供者に帰属しません。

12. その他

ご不明な点がございましたら、研究代表者まで問い合わせをお願い致します。

13. 問い合わせ先

研究代表者：吉政 豪也

所属：

① 東京都立大学大学院 人間健康科学研究科 作業療法科学域博士前期課程 1年

② 中伊豆リハビリテーションセンター

所在地：

① 〒116-8551 東京都荒川区東尾久7-2-10 東京都立大学荒川キャンパス

② 〒410-2507 静岡県伊豆市冷川1523-108

連絡先：TEL 0558-83-2204

メールアドレス：yoshimasa-katsuya@ed.tmu.ac.jp

指導教員：谷村 厚子

所属：東京都立大学大学院 人間健康科学研究科 作業療法科学域 准教授

所在地：116-8551 東京都荒川区東尾久7-2-10

連絡先：TEL 03-3819-1211(代) 内線455

メールアドレス tanimura@tmu.ac.jp